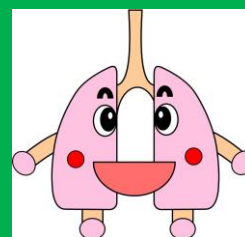


多摩府中保健所感染症週報

平成31年 第10週 (3月4日~3月10日)



肺えもん

今週の傾向

★インフルエンザの報告数はさらに低下傾向です。

★風しん・麻疹の発生報告数が増加しており、注意が必要です。(2ページを参照)

★手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

●定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第9週	第10週	第9週	第10週
インフルエンザ	インフルエンザ	5.13	2.81	3.47	2.20
小児科	RSウイルス感染症	0.17	0.10	0.28	0.21
	咽頭結膜熱	0.11	0.19	0.17	0.14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.39	2.71	2.51	2.56
	感染性胃腸炎	7.22	7.24	7.16	7.03
	水痘	0.72	0.38	0.39	0.32
	手足口病	0.06	-	0.07	0.05
	伝染性紅斑	0.33	0.57	0.60	0.57
	突発性発しん	0.44	0.24	0.40	0.39
	ヘルパンギーナ	0.06	-	0.01	-
	流行性耳下腺炎	-	0.05	0.05	0.10
	不明発しん症	0.06	0.10	0.04	0.04
	川崎病	0.06	-	0.01	0.01
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	0.33	0.24	0.17
基幹	細菌性髄膜炎	1.00	-	0.08	-
	無菌性髄膜炎	-	0.33	-	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.50	0.33	0.17	0.08
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.25	0.16
	インフルエンザ(入院)	2.00	1.00	0.88	0.48

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

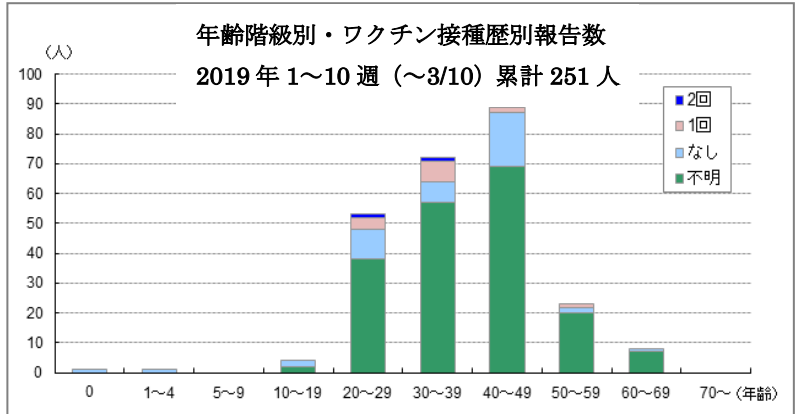
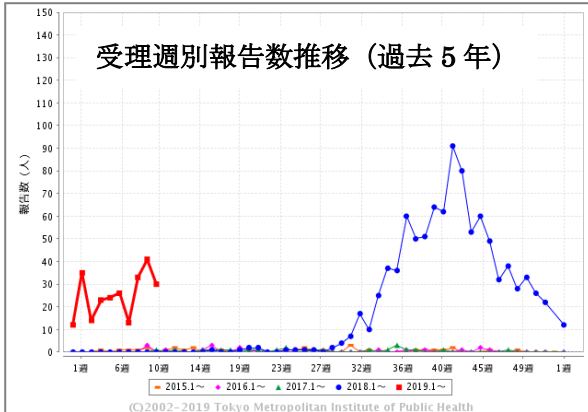
※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関(定点医療機関)」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

今週の状況

※赤線は2019年第10週までの定点当たりの報告数

●風しん（東京都）の発生状況

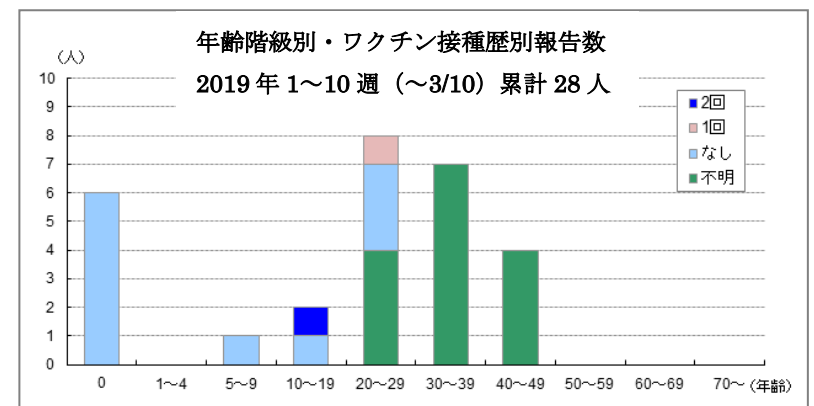
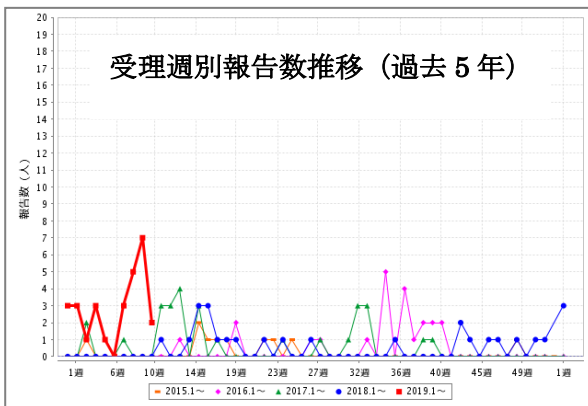
- ・昨年度大きな流行がみられ、今年度も発生が続いています。引き続き注意が必要です。



（参考：東京都感染症情報センター <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>）

●麻疹（東京都）の発生状況

- ・都内では今年に入り、昨年の同時期より発生報告数が多くなっています。
- ・ワクチン接種歴のない0歳児、ワクチン接種歴なし又は不明の20～40歳代の報告数が多い傾向があります。



（参考：東京都感染症情報センター <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/measles/measles/>）

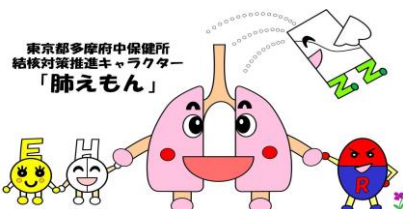
●麻疹・風しんかな？と思ったら、

- ・麻疹が疑われる症状（発熱、咳、鼻水、眼の充血、発疹）、風しんが疑われる症状（発熱、発疹、リンパ節の腫れ）がみられたら、登園・登校、出社等を控え、事前に医療機関に電話連絡した上で、早めに受診してください。
- ・渡航歴や麻疹・風しん患者との接触歴がある場合、その事を医療機関に伝えて下さい。

参考：東京都感染症情報センター「感染症ひとくち情報」より 一部改変

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/rubella/hitokuchi-joho.pdf?20190307>

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/measles/hitokuchi-joho.pdf?20190307>



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当

TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報